令和２年８月２０日

全国初！！ビル屋上からの交通状況　静止画をETC2.0対応カーナビに配信

～さらに広い範囲の交通状況が確認でき、賢い経路選択に役立ちます～

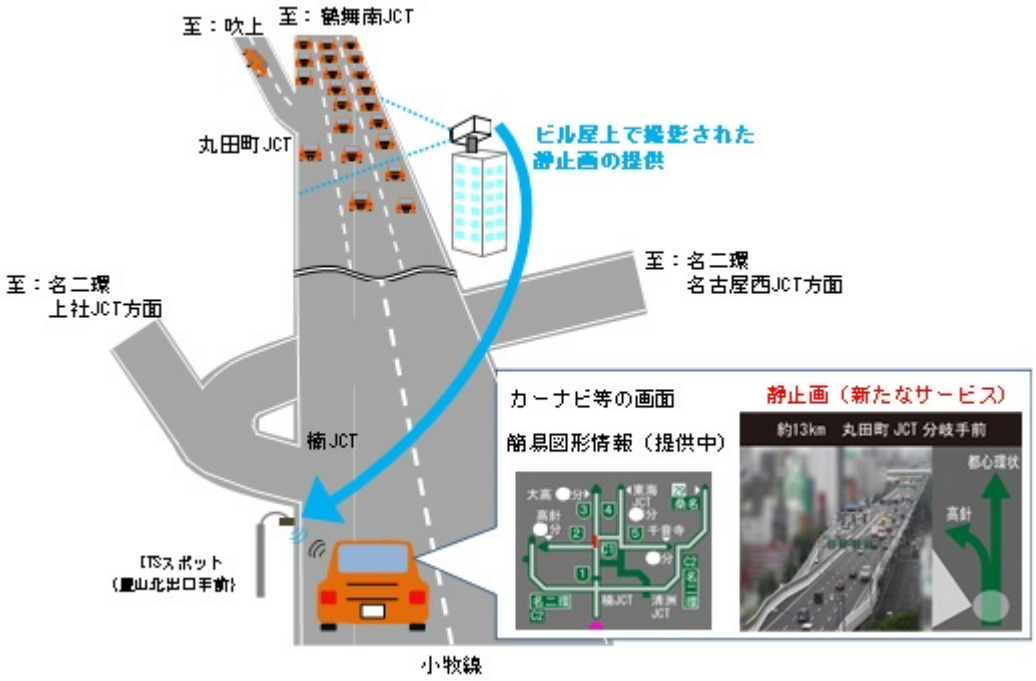
名古屋高速道路では、２０２０年７月２１日より ETC2.0 のサービス「渋滞回避支援」として、渋滞多発箇所等の出口及びＪＣＴ手前で、高速道路本線に設置されたカメラで撮影した交通状況の静止画を ETC2.0 車載器に配信しています。

これに加え、全国初の取り組みとして、２０２０年８月２６日（水）から、高速道路に近接するビル（３地点）の屋上に設置したカメラからの静止画を新たに配信します。

ビルの屋上に設置したカメラから撮影した静止画は、高速道路本線から撮影したものと比較して、約２．５倍以上※1の範囲を俯瞰的に捉えることができるため、交通状況がより直感的にわかりやすくなり、既に提供している簡易図形情報と併せて、さらに賢い経路選択（渋滞回避）に役立ちます。

※１：高速道路本線に設置されたカメラ（４箇所）と高速道路に近接するカメラ（３箇所）の平均撮影範囲を比較

例えば、高速１１号小牧線　豊山北出口手前の ITS スポットを
通過時に約１３km 先の丸田町 JCT 分岐手前の交通状況を配信



静止画カメラの設置箇所

高速道路本線に設置されたカメラ（４箇所）

設置箇所 ★ A：山王 JCT 分岐手前
B：錦橋出口分岐手前
C：一宮 IC 分岐手前
D：小牧 IC 分岐手前

静止画を提供する ITS スポット ●（A～D に対応）

B で撮影される静止画のイメージ

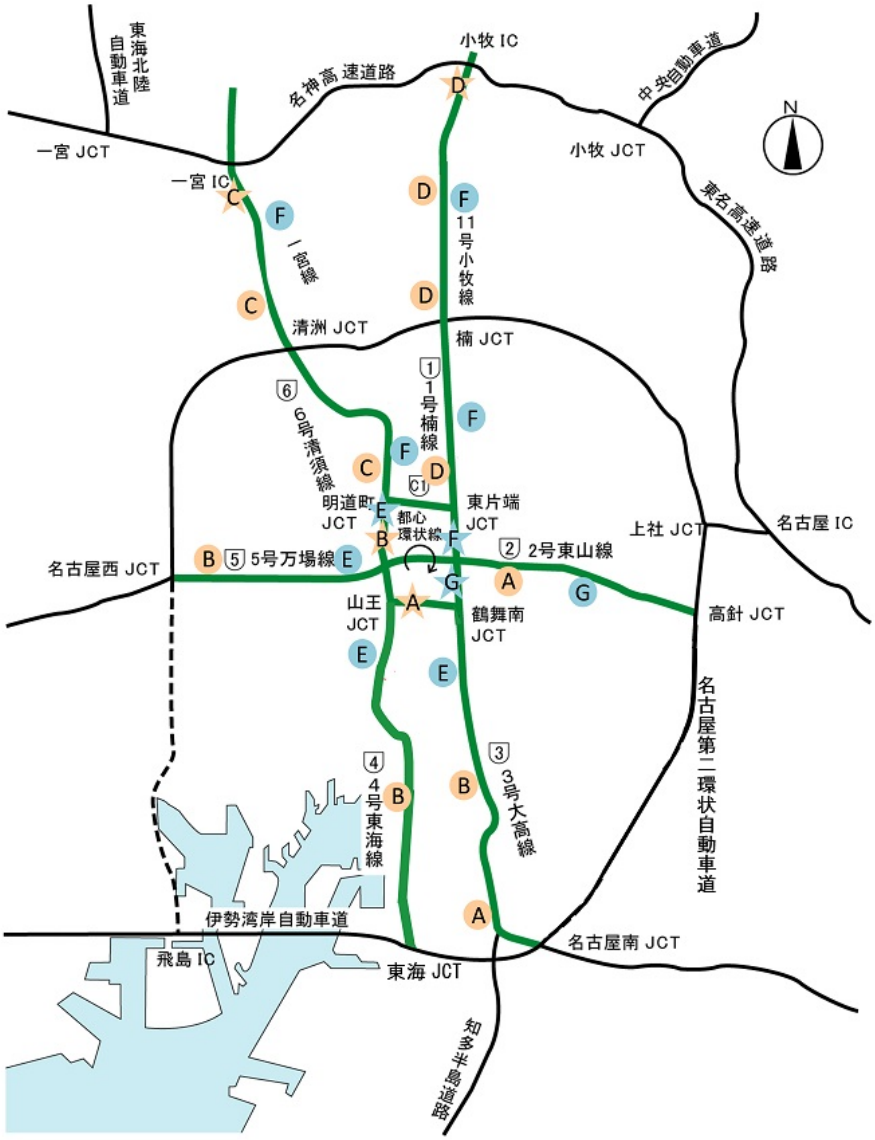
ビル屋上に設置されたカメラ（３箇所）

８月２６日（水）配信開始

設置箇所 ★ E:明道町 JCT 分岐手前
F:丸田町 JCT 分岐手前
G:鶴舞南 JCT 分岐手前

静止画を提供する ITS スポット ●（E～G に対応）

F で撮影される静止画のイメージ



注：ＥＴＣ2.0 サービスを受けるためには、ＥＴＣ2.0 対応車載器が必要です。
図形・画像情報等を活用するにはＥＴＣ2.0 対応カーナビ等が必要です。
カーナビ等の設定により、図形・画像情報等が表示されない場合があります。